

第4回 南九州市議会議員定数等調査特別委員会 会議録

令和4年5月9日(月)
委員会室

(開会 9:30)

1 市民へのアンケート調査について

○西委員長 それでは第4回の南九州市議会議員定数等調査特別委員会を開会いたします。本日の議題は先般議題になりました市民へのアンケート調査についてが主なものでございます。

先日の議論の中では南さつま市のアンケートを見本に作って、このアンケートをとったらということで話が進みました。それで一応事務局のほうで南さつま市の調査票と附属資料というのをつけていただきました。これを参考にしながら調査票の在り方、そして最後には調査数をどのくらいにするかというのまで、議論を進めていきたいと思います。

まず、このアンケート調査について、先に議論をしていただきたいと思います。南さつま市議会に関するアンケート調査というのがございますがこれを見ていただいて、問1から問2, 3, 4, 5とございます。最後が28で終わっております。これを参考にということでございました。これをちょっと見ていただいて、これにつぎ足したり、あるいはもうこれはいいんじゃないかとかあるのかなと思います。見ていただいてそれとまずこのアンケート調査を書いていただくのにこの附属資料という現在の議会の状況、現状を書いてございます。これも非常に大事なことかなと。先般もこの議論の中で現在の議員の定数とか、報酬とか、そういうのまで議論が出たところでございますが、まずアンケートと並行して附属資料を見ながら協議していきたいと思います。よろしいでしょうか。問1から協議していきたいと思いますがよろしいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 問1の性別、これはもう当然かなと思いますが、いいですね。

○日置委員 未回答もつけ加えたほうがいいのかと思います。時代的に。

○西委員長 ウで未回答を入れたほうがいいのかということですが、それでいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 ウで未回答を入れます。問2については18歳から70歳以上までということで全世代ですが、これについてはいいですか。

○日置委員 80歳以上をつけ加えたらどうかと思います。理由としてはこの辺から車が使えなくなる方が増えるので、微妙にニーズが違ってくるのかなと思うからです。深いこだわりはないです。それでいいんじゃないかということだったら。80歳以上は免許使えなくなる方が多いので、微妙に議員に求めるものが変わってくるのかなと思ったりもしたけど、そんなこだわりはないです。皆さんに御協議いただければありがたいです。以上です。

○竹迫委員 集計とかそういうのはちょっと手間暇がかかるのかと思いますが、80歳代を代

表して言いますが、これは入れたほうがいいんじゃないですか。

○西委員長 70 歳から 79 歳までと 80 歳以上でいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 そのようにしたいと思います。次の問 3，お住まいの地域は 3 地域でいいですか。

○竹迫委員 3 地域ということで、これは何か旧合併前のこの地区を脱却する方向に持っていったほうがいいんじゃないかと思います。いつまでも旧町，旧町というようなことを引きずることはあまり一体化に向けてはよくないんじゃないかなと思います。ですからこの地区公民館があるわけですから，その地区でやったほうがいいんじゃないかと私は思います。

○西委員長 地区でということですので，校区か地区公民館区かということの提案かなと。

○大倉野(由)委員 私はむしろ穎娃，知覧，川辺と地名も入れることにして，さらにどの地域に住んでいるといのを書きたい方もおられるんじゃないかと思いますので，それを書けるものを足したらいかがでしょう。川辺でもいろいろあるんです。

○西委員長 大字を書いて欲しいということですか。

○大倉野(由)委員 そうです。意見です。

○西委員長 大字まで書けば分かることは分かるけど集計がちょっと面倒かなというのはありますが。

○竹迫委員 市内でも校区によってもものすごく違うわけですよ。街中にいる人はあまりに不自由を感じなくても，離れたところはいろいろ交通の便とかそういうのが出てくると思います。ですからさっきも言ったように，やはり旧町にこだわるそういうのは薄めていかないといけないという思いと，本当集計そういうものは手間暇がかかるとは思いますけど，やはりどういうところがどういう考えを持っているかというのを把握するためには，地区公民館があるわけですから，その地区をやったほうがいいんじゃないかと思えます。重ねて申し上げます。

○蔵元委員 アンケートなので，多分 60 ぐらいの間が出てくると，ちょっとアンケートとしてはあまりないですよ。だからもう多分 3 地域ぐらいで，こちらが求める意見としてはそれぐらいでいいのかなというふうに思いますけど。

○川崎書記 参考ですが，今回このアンケートをするのは市民全員にとるのではなくて抽出してする形になっていきますので，その場合に当初は 3 地域でそれぞれ 3 つの地域から抽出という形，校区となりますとそこを分けた形でまたこれは抽出という作業が出てくることになります。以上です。

○川畑委員 あまり小さく分けるとというのがあります。やはり先ほどでた旧川辺，知覧，穎娃ぐらいの分け方でいいんじゃないかなと私は思います。

○大倉野(由)委員 抽出をどこでどういうふうにとありますが，全域の声が網羅される。その工夫を申し上げたいと思います。

○西委員長 このお住まいの地域はもう括弧書きで，例えば大字とかそういう書き方では駄目ですか。3 地域の○をして括弧でどこどこと書くようにしては駄目でしょうか。

○竹迫委員 括弧書きでしたらやっぱりそれもそれなりに数字を上げないといけないわけですよ。だから書いたり，書かなかつたりということはちょっとまずいと思います。それで

いろいろ皆さんの声を聞いて、私はもう全体でという気もするんですけど、合併前3つでいかなというふうに、皆さんの意見を聞いて、さっきの意見と違いますけどそう思います。以上です。

○今吉委員 アンケートを1,500するのか3,000するのかまだ未定ですが、やっぱり顚娃、知覧、川辺で500, 500, 500, 1,000, 1,000, 1,000とそういうふうは無差別に抽出するわけですから、旧顚娃、知覧、川辺町のほうで3等分に割ったほうが早いんじゃないですか。

○西委員長 それでいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 それではもうその3地域ということで、ここについてはお住まいの地域で行きたいと思います。次のこの表現はどうしますか。なり手不足の深刻化、これも入れますか。

○米満委員 まだこの南九州市の議会の選挙で定員割れしたとかそういうものがないものを、ここでどう考えますかと問われたときに市民がどう答えるのかなと思って、これはまだそういう段階ではないんじゃないかなと思ってはいますが、枕崎みたいに定数が割れるとか、そういうところであつただけけれども、南九州市はまだ定数以上の立候補者がいるわけですのでこれが必要ですか。

○西委員長 そういう御意見もありました。なり手不足というここまで入れる必要があるかということですが、どうですか。

○竹迫委員 私は、これは本当定数割れをしたことはまだ合併以前も3町無いと思います。それで考えてみますと、私も最初出るときから定数割れ無投票というのは、合併前の7か月でしたか、あの時は知覧は無投票でしたけど、もうそれ以外は無投票はないわけです。それで大幅に出る人が少なくなったかという、今までも多くて2,3名なんですよ2名ぐらい、ほかの旧町もそういう状況ではなかったかと思います。そうしますと以前と比べて現在が出る人がいないのかという私は変わっていないと思う。そのようなことから、この質問はどうかと私も思います。

○西委員長 という御意見です。この文章を見ると全国的な問題として、本市だけを言っているんじゃないんです。県内を含めて全国的にこのような現状がありますということをおっしゃっています。そうすると次の4,5というようなところまでいくということになるんで、この問題がもう要らないということになってしまうわけです。どういたしますか。この全国的にはそういう問題があるということは皆さんも御存じのとおりです。年金までの議論になっているわけですから、ここを入れるか入れないか、本市は今のところお2人からあつたように定数割れをして選挙があつたということはないわけですが、ここまで入れるか入れないかということです。

○川畑議員 議員定数をどうするかというところだけを市民に問うというよりも、全体的に市民のほうに議会、議員としてのことについてお知らせするとともに、そしてこのようなアンケートをとったほうが私は良いと思いますので、やはり大きな枠内でということになると、このなり手不足というのは大きな問題だろうと思っております。ですからある程度市民のほうにも、今からこういうことが起き得ることがあるんですよということも含めて考えていくべきではないだろうかと思っています。

○蔵元委員 一緒なような意見です。女性に対する部分もありますので、女性活躍社会とい

うことで、議員のなり手がいないというのがいろいろ問題にもなっている。そういった方たちが何でだろうということを知るためのアンケートだと思うので、その辺はその調査ということで入れたほうがいいのかと。

○西委員長 皆さんこの附属資料の1ページを開いていただいてよろしいでしょうか。ここに南さつま市議会の現状ということで書いてございます。議員定数についてというようなことで書いてございます。こういうのを入れて、ここにあたしは今回の特別委員会の文言も入れて、こういう今回の調査票になったというふうな文言も入れたらどうかと。議会だよりも載せていただきましたけれども、調査票をお願いするに当たってこういう現状できていると、調査をお願いするところですよというような文言まで入れて、このなり手不足まで入れたほうがいいのかとは思いますがいかがでしょうか。進めたいと思いますが、なり手不足も入れたほうが良いという方、挙手をお願いしていいですか。

〔賛成者挙手〕

○西委員長 挙手多数です。ここも入れましょうか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 そのようにさせていただいて、次の問4になるわけですがアからクとその他までありますので、これはもうこういう感じでよろしいでしょうか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 どうしてもという方はその他のところに入れていただければ、調査としては成立するのかなと思います。続きまして問5、「女性や子育て世代の方が議員になるためには、何が必要と思いますか。」これも全国的なところで議論されておりますので、こういう内容でよろしいでしょうか。

〔「はい」という声あり〕

○日置委員 問5としての設問の女性や子育て世代の方がというので、子育て世代を若い世代に変えるのはどうかと。というのは恐らく意図としては、この南さつま市がどういう意図を持ってやったかわかんないんですけど、結婚してない若い世代もいるし、夫婦だけど子どもを作らない若い世代もいるんですよ。だからこの質問の意図として多分ここに書いているというのは議会の問題認識として、女性とか子育て世代というのが少ないという南さつま市が問題認識を持ったからここにこう書いていると思うんですけど、私は子育て世代というよりは若い世代、若い世代という言い方が適切かわかりませんが、という意味なのかなと思うので提案です。別に私個人の考えかもしれませんが、皆さんがこれでいいと言えそこまでそういうこだわりはないです。

○吉永委員 今の日置委員で、若い世代でというくくりじゃなくて、若い年代とか、そういう意見の18歳でなれるというのは今の時点でできる選挙権を持っている中で、やはり興味を持つ持たないで、無作為を考えればそういう若い年代の方という表現で入れればいいのかと。子育て世代にこだわるわけじゃなくて、そういう形を含めてというふうに考えないかなと僕も思うんですけど、若い年代とか、若い世代というのもちよっと表現があれなんですけど、今、言われた子育て世代と女性に区切られた表現にとらわれるのか、それとももう若い年代とすればもう全体的にとらえられるのかと思って、僕もそれを入れたほうが良いと思います。

○西委員長 という意見ですがどうですか。若い世代，若い方，子育て世代はもう女性にも該当するからいいのではないかというニュアンスの表現でしたけれども，若い方か若者か。

○竹迫委員 今のこれ，私も定かでないが被選挙権は何歳になっていますか。

○樋渡議会事務局長 被選挙権 25 歳以上です。

○竹迫委員 これを入れるとしたら，「被選挙権は現在は何歳です。」と入れたほうがいい。その情報を入れて回答してもらったほうがいいんじゃないかと私は思います。

○西委員長 それでいいですか。そういう表現を入れて。

○蔵元委員 この問 5 に関しては，女性だけに聞いているわけじゃなくて男性も含めて聞いているわけで，男性も子育て世代に含むので，多分このままでいいのかなと。

○西委員長 子育て世代というのは男性も含むという表現ですね。いかがでしょうか。

○竹迫委員 さっきも出ましたが，この子育て世代と入れるのはちょっと抵抗あるんです。独身もいるわけですからね。そういう選択をしている人も結構いるわけですから，子育てはちょっとと私は思います。

○川畑委員 ちょっとあれですけども，若い世代というのは何歳までを若い世代というのか。私は 65 でも若いと思っているんですけど。

○西委員長 その辺はもう個人の判断ですので，表現としては若い世代，若者という表現でどうですか。若い方，そういう判断をしてください。

○日置委員 確認ですけど，その女性や若い世代と書くということですか。というのはですね，そこまで言おうか，言わないか迷ったんですけど，議論がちょっと深まっているので，本質的には女性や若い世代という聞き方の設問に問題があって，2 つは違うものなのに，1 つの設問にまとめているから，こういうことが起きて，本当は 2 つに分けたほうが良いと思ったんですけど，スペースの問題上それも難しいのかなと思ってあえて言わなかったところだったんです。だから，できるんだったら分けたほうが，だって年配の女性もいるわけですから。だから，そこは本当に分けようと思ったら設問を 2 個に分けるしかないと思います。

○大倉野(由)委員 女性というふうに書いてあるそのことというのは，やっぱり現実の議員の中での女性の比率が低いという問題意識があるから，こういうことになってるんじゃないかなと思うんですけど，だから子育て世代と書いたときに，女性だというふうに限定をするのもおかしい話だから，やっぱり女性というふうに，みんなの認識の中に女性の議員が少ないんだという意識があればこそ出てくる設問かと思いますので，女性という言葉を残したほうが良いと思います。

○西委員長 どうですか。提案です。もう「女性，子育て世代，若者」とそこまで入れたらどうですか。若い方と入れても駄目ですか。

○取違委員 若者というとやっぱり極端に特定されている感じがするので，先ほど 65 も若いと言う方もいましたけど，ちょっとそこはもう抵抗が逆に私はあるかなと思うので，今のこの女性や子育て世代というので，子育て世代というのは非常に幅が広いと思いますので，このままでいいんじゃないかと思います。

○日置委員 粘ってすみません。こういう問題を話るときに必ず言われるのが，ジェンダーバイアスと言われるので，ここにいる決定権のほとんどの人が男だから，女性と子どもとい

うのを一色胆にしてもあんまり違和感ないという感じになっている可能性もあるなと思っていて、だから、個人的には今せっかく南九州市は女性議員が3名もいらっしゃるの、その方々がこれでいいというのであれば別に私はいいのかなという気はします。だから、これこそ多数決で決められないような類いの問題な気もして、なので私はそこが大事なのかなと思ったりしますけど。

○西委員長 どうですか。あんまりこうこだわらないほうがいいふうな気もしますが、表現的に。

○吉永委員 今、委員長が言われた文章に、確かに設問を分けたほうがより具体的なんですけども、女性や子育て世代、若い世代で（被選挙権）若者世代で区切るのとはという表現もあったんですけど、この被選挙権 25 歳以上というのも入れれば大体つながるのかなと僕はちょっと思いましたけど、総合的に。分けるか分けないかそれをどう考えるかという部分もあるんですけど、アンケートの調査の中でひとくくりにしたほうが、早い、早いという言い方はちょっと表現が悪いんですけどいいのかなと。分けるか分けないかによると思うんですけど、分けないんだったら、もうそういう言葉をちょっと入れて質問したらどうですか。

○西委員長 若いという表現を入れたほうがいいということですか。

○吉永委員 もうその文章の中に、それか入れずにこの世代に（独身者）とか入れるか。

○西委員長 提案です。女性や子育て、若者世代としても駄目ですか。

○大倉野(忠)委員 私は問5のこの設問の文言に関しては、全く違和感はありません。

○西委員長 このままでいいということですね。どうですか。このままでいいですか。

「はい」という声あり

○西委員長 そのようにさせてください。問5のところに被選挙権の25歳を、被選挙権でわかりますかね。立候補できるのは25歳以上ですと、そういう表現でいいですか。

「はい」という声あり

○西委員長 問6に移りたいと思います。問6は「問4、5で選ばれた項目を解消するためにはどのような取組が必要だと思いますか。下記にご自由に書いてください。」ですので、これはこれでいいですね。

「はい」という声あり

○西委員長 次の議員定数が出てくるわけですが、別紙資料、先ほど附属資料と申し上げましたがこれを参考にお答えください。現在の議員定数と常任委員会の関係が書いてございます。これについてはどうですか。現在の議員定数についてどう思われますか。定数は当然ですよ。

○大倉野(由)委員 定数の問題は1番最後でいいんじゃないかと思うんですけど、いろいろこの中身を見たときに、それぞれ考えながら答えていきますよね。そして結論として定数というふうなアンケートで。

○西委員長 御意見ですね。このことはどうですか。どこでも私はいいような気がするが、早いほうがいいような気がする私は。いかがですか。このままでいいですか。

「はい」という声あり

○西委員長 問7はこの位置でよろしいですか。

「はい」という声あり

○西委員長 問7はそうにさしてください。問8です。これも定数をうたっておりますので、ここはこのままでよろしいですか。14, 16, 20, 22, 18がないな。18を入れたほうがいいですね。18をお願いします。

○鮫島委員 今のこの設問は設問7の「減らすべきである」、「増やすべきである」を選んだ方ですので、18はここは入れないほうがいいんじゃないですか。

○西委員長 増減だからどちらでもいいんじゃないですか。ただ南さつまの場合は定数が18だから入れてないのかなと。

○鮫島委員 20を消すという話になりますよね。

○西委員長 20を消していいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 20を消して18人にしたいと思います。問9です。「問7, 問8で妥当な人数と思われた理由は何ですか。」ですが、これの設問でどうですか。これも入れたほうがいいのか、何かありますか。その他で括弧書きがありますから、これ以外の回答が出た場合はここにかけるのかなと思いますがいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 次に入りたいと思います。議員報酬の件です。現在、報酬はこうなっていますということですが、「手取りとしては、これより少なくなります」ここまで入れたほうがいいですね。

○竹迫委員 前回も言いましたが、現在の月額報酬はと南さつま市のほうはあるわけです。丁寧に「税金等が控除されます」とあるんですよ。しかし、これは手当を含んでいない表現ですよ。ですから、丁寧に月額報酬はいくらですと。そして、1年間でいくらになりますと。それも私は入れるべきだと思います。

○西委員長 約いくらとか。確定はなかなか難しい、年によって。

○竹迫委員 確定しにくいんだったら、令和3年度実績で年間議員はいくらというのは出るわけですね。それを入れないと不親切というか、わかりにくいということになります。

○西委員長 御意見ですね。

○竹迫委員 いえ、これは絶対これは入れないのがおかしいと私は思います。年間、議員で前回も申し上げましたが4百4, 50万源泉徴収でもらっているんですよ。皆さん同じだと思います。ですからこれを入れると入れないでは見方が違ってくると思います。29万くらいという表現と年間450万くらいだという表現とはですね。それと私が言いたいのは、今の南九州市の事業所とかそういうところで、年間の給料がいくらだというようなことも考えるわけですね。それともう1つは今の議員報酬が市役所の職員がいつ入って、何年ぐらいたったところの報酬ですとか、そういうことを知ってもらって判断してもらいべきだということを思います。私はそれが開かれた議会だと。ぜひこれは入れるべきだと思います。これは反対する理由はないと思う。反対するんだったら、この会議も市民に公開されるわけですから反対していただきたい。

○西委員長 今の御意見は年報酬を入れたほうがいいんじゃないかという御意見もありましたが、この南さつま市の附属資料をちょっと見ていただいて4ページをお開きください。こ

ここに各市の議長、副議長、議員の報酬は一覧で載って、他市との比較もできることはできるんですが、年間の報酬まで入れたほうがという御意見が今出たところですがいかがでしょうか。

○日置委員 年間の報酬まで入れるというのに賛成です。というのは議員報酬のところだと多分竹迫委員が御指摘されたような期末手当がいわゆるボーナスの内容が加算されてないという御指摘だと思うんですが、実際、ちゃんとどれぐらいもらうのかってというのは、オープンにした上でやったほうがいいのと、さらに言うならば4番の表にしても報酬月額だけではなくて、期末手当まで載せたほうがいいのではないのかなというの思います。というのはここで何が伝えたいかということ、議員は年間どれぐらいもらっているけど、どうなんだっていうことを伝えた上で聞きたいという問なので、それもちょうんと書いたほうがいいのかなと私は思います。

○西委員長 括弧書きのところに年額報酬まで入れたらどうですかという御意見だろうと思います。

○竹迫委員 これはですね。この20数万というこれでしたら、そのぐらいかというような気持ちになりがちだと思います。しかし、年間4百4、5十万ありますよというのであれば、それなら出てみようかなと動く人もいるかもしれません。なり手がいないというようなことで、今こういう議論をされているわけですから、これはオープンにすべきだと思う。私はそういうことで、これに反対する人はちゃんとここで反対してもらいたい。以上です。

○川畑委員 私はこれで一般市民が見たときに、月額報酬29万、29万かとそれから引かれるんだなあと、それにここが年収490万、年収、月はいくらかということで、普通の人たちは年収でいわれてもぴんとこないと思います。やはり月額のほうがいいんじゃないかと。

○竹迫委員 川畑委員おっしゃるんでしたら、月額報酬はいくらですと、そして期末手当を含めて年間いくらになりますとしたら、皆さんわかりやすいんじゃないですか。

それともうひとつ言いたいのは、これが先ほども言いましたが、市役所の職員でどこら辺の位置にいるかということも、これは調べてもらいたいんですが事務局にですね。そしてそういうことも私は大事なことだと思う。やっぱり年間がぴんとくると思います。事業者とか農家の人たちなんかも年間の利益はいくらだというようなことを出しているはずですよ。そういうものと比較する場合、これは出す出さないではなくて、これは出すのが当然で親切だと思います。分かりやすく計算しなくても分かるように出すべきだということです。

○西委員長 2つの意見がございましたがどうですか。月額報酬を入れて、今の提案は令和3年度で年間報酬いくらでしたというような表現まで入れますか。

〔「はい」という声あり〕

○吉永委員 1つ確認が、うちだけ年額で他は出さないということですか。月額と年額スペースをつくった場合に、今、オープンすべきで全然構わないんですけど。ここ（南さつま市附属資料4ページ）は。

○西委員長 ここまでは入れなくていいんじゃないですか。

○吉永委員 別のところの3ページの上（南さつま市アンケート調査票3ページ）ですか。今、協議しているのは、この議員報酬のここに月額報酬で総支給額ですと、税金がどうのこうのというここに年額いくらでということを入れるということですか。

○西委員長 そういうことです。月額報酬がいくらで、括弧書きでもいいですから、「令和3年度では年総額いくらです。」というような表現ですよ。竹迫委員。

○竹迫委員 月額いくらですと。手当を含めたら年額いくらになりますと。これを入れるだけでしょ。それが、市民はわかりやすいでしょ。私はわかりやすいと思います。期末手当がいくらあるのとか、そういうのもぴんとこないですよ。ですから難しいことじゃないわけですよ。両方併記。それで私はやるのが当然だと思う。

○西委員長 竹迫委員の意見はわかりました。どうしますか。もう賛否をとりたいと思います。時間もありませんので、今、竹迫委員が言われてように月額報酬を入れて、年総額まで入れたほうがいいという方は挙手をお願いします。

【賛成者挙手】

○西委員長 12名でございましたので、総額まで括弧書きで入れたいということでもいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 それではそのようにさしてください。いいですか。

【「はい」という声あり】

○竹迫委員 それと市民の方は、議会はもうしょっちゅうあるみたいに思っている市民も結構います。「議会は今はなかとかな」ということがあるんですよ。ですから私は本会議は何回とか、委員会がいくらとか、その他いろいろ行事等の参加が何日ぐらいありますとか、そういうのもこの中ででも知らせるべきだと私は思います。私は何でこういうことを言うかという、ただ月額というそういうのしか市民の間には伝わっていないと思うんですよ。ですからさっき言ったように、そういう手当を含めたらいくらになりますよというようなことになったら、手を挙げる人が出てくるんじゃないかという思いがあるわけです。そういうことで今言っているわけです。それで現在の議員の活動は年間こういう議会が委員会がだとか、それからその他公的な行事の参加が何日ぐらいありますとかいうようなことをやはり知ってもらうということが私は大事じゃないかと思います。以上です。

○川畑委員 委員長、報酬というのは手当も含むんですか。手当は別ではないんですか。報酬に入らないんじゃないですか。手当は期末手当と別に計上しなければいけないんじゃないですか。

○西委員長 だから括弧書きで令和3年で総額いくらという表現になるということでしたので。

○川畑委員 上の議員報酬というのが1番頭にありますよね。そこに議員報酬及び手当としないとおかしくなってくるんじゃないですか。報酬ではないわけですから手当は。

○西委員長 それは川畑委員の御意見として伺っていますが、今の件について何かございませんか。

○今吉委員 ここで月額報酬と、本市と金額が違いますけど29万5千円とありますよね。ほかに期末手当が2回、いくらいくらでいいんじゃないですか。そのトータルはいくらだと、どうのこうの言わなくても。

○西委員長 またちょっとさきに戻ったみたいですが。

○竹迫委員 報酬と手当と言ったら、そうだろうと思います。しかし、市民に理解してもら

うということが大事だと思う。それで月額報酬はいくらですと、期末手当を含めた議員に対する総支給額分としたほうがいいかなと思うんですが、3年度はいくらですというふうにわかりやすいようにするのが我々の務めじゃないですか。何かこう隠すようなことをやるべきじゃないと私は思う。以上です。

○西委員長 ちょっとこれは議論がまた採決した後に戻ったような感じがしますので、もう先ほどから言いますように、令和3年で総支給額いくらとそれでいいんじゃないですか。先ほど決定しましたので、この問10についてはこれでよろしいですね。報酬についての問ですから、これでいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 問11に行きたいと思います。「現在の報酬額で、あなたは議員を目指そうと思いますか。」このことについてはいかがでしょうか。これでいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 いいですね。問12、問11で「思わない」、「わからない」。これは月額に換算していくくらいということで、これはいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 次の政務活動費ということで、附属資料の3ページにも書いてございます。議員報酬、政務活動費を含めてここに表現を書いてございます。本市も政務活動費は支給されていません。それで問13にいくわけですが、「政務活動費は支給されていないことを知っていましたか。」これはこれでいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 いいですね。問14、「議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費として支給することができる政務活動費を支給すべきと思われますか。1つだけ○をつけてください。」この表現で3択でいいですか。

○川畑委員 この政務活動費の調査については、南九州市は支給されていないし、今後も支給を望んでいません。ここにいらっしゃる方で望んでいる方もいらっしゃるかもしれませんが、そういうことから考えると私はこの調査そのものが要らないんじゃないかなと思います。

○吉永委員 要る、要らないじゃなくて、政務活動費もやはりわかっていらっしゃる方がいるんですよね。やはり国会議員などいろいろテレビ報道されて、「南九州市は出ているんでしょう」とか、こういういろんなことの言われるんですよ。だからここはしっかりとオープンにして、うちは出ていませんよと、これがやはり市民の方が必要であるかないか意見を求めるべきだということで、私はこれは入れるべきだというふうに思います。以上です。

○竹迫委員 私も政務活動費をもらっているんですけどというようなふうに思っている市民もいます。いや南九州市は無いですよ。今までもらったことは1回もありませんよということをお話しますが、今、吉永議員からもありましたが、そういう意味では南九州市では現在ありません。しかし、この件についてはどうですかという設問をすることはいいんじゃないかなと思う。その前に断ってですね。南九州市ではありませんということを説明して、報酬とかそういう年額報酬支給も出るようになりましたので、そういうところから市民は判断してくると思います。

○米満委員 13番、14番はこれでいいとして、15番は必要ですか。いくらにしたらいいと

思いますかと市民に問うてもこれを答えられるんですか。これは必要ないと考えるんですけど。今、言われるように政務活動費をもらっているか、もらっていないかということを知らせることについて13番、14番はあってもいいと思います。ただ15番についてはどうですか。これは必要かということです。

○西委員長 それはまた後で議論したいと思います。まず13はいいですね。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 14も同じような問いですので、これも入れていいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 今議論が出ました問15、これは要りますか。要りませんかということですが。

○取違委員 私も同じように必要ないんじゃないかと。逆にこれがあるとくれというような感じに捉えられるので、もう無くても別に差し支えないというふうに思います。

○西委員長 要らないという御意見がありましたけどどうしますか。

○竹迫委員 要らないです。

○西委員長 削除していいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 15は削除したいと思います。次の4ページ「なり手不足解消のために、あなた自身のことについてお尋ねします。」ということでございますが、問16「あなたも市民のために議員として働いてみたいと思いますか。」これはどうですか。いいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 問17、「16で条件が整えばやってみたいということを選ばれる方にお尋ねします。」ですので、1番の条件は何ですかということですね。こういう問でいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 17はそのままでもいいと思います。次の「ここからは、市議会についてお尋ねします。」ということですので、「市議会への関心について」、市議会への関心がある、少しある、ないということですが、この間についてはどうでしょうか。いいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 問19「年4回発行の議会だよりについて、最も当てはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。」1つだけでいいですかね。○の仕方は。どうですか。1つでいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 このままでいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 問19はそのままでもいいと思います。問20、「市議会を傍聴したことがありますか。1つだけ○をつけてください。」ですが、これについてはどうでしょう。いいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 問21「市のホームページにある市議会のページについて、最も当てはまるものを1つだけ選んでください。」これもいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 問22「市議会では市民との意見交換の場「みんなで語る会（議会報告会）」を

を行っています。」今現在コロナでやっていないんですがどうしますかこれ。「現在コロナで中止しています」がと文言を入れてこの表現にしますか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 そのように「現在はコロナで中止しています。」ということの表現を入れてこの問を成立させたいと思います。次の「市議会活動について」、問 23 です。「現在の市議会をどのように評価しますか。」ということでございますが、これもこのままでいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 問 24 「あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか。」ということですがどうですか。こういう 4 択でいいですか。いいですね。

【「はい」という声あり】

○西委員長 問 25 「市議会にどのような活動を期待しますか。」ということで、行政のチェック機能、地域の諸課題の解決、市民の生活向上、広報活動の推進、その他、これもどうですか。いいですか。

○鮫島委員 問 25 は 1 つだけでなく 2 つか 3 つぐらい選ぶというのはどうなんですか。1 つだけと言ったら、中にはいろいろこれもだこれもだといったようなものがあるんじゃないかと思います。

○西委員長 1 つだけじゃなくてということですね。もう 1 つだけを消しますか。項目を選んで○を付けてくださいでいいですか。

○日置委員 今の論点としては複数○つけるかつかないかという話だと思うんですけど、私は 1 つでもいいのかなと思っています。理由としては鮫島議員のおっしゃっていることはすごくそうで 1 個にまとめきれないよということだと思うんですが、例えばアからエほとんどの人が全部○をするんじゃないのかなという気はしていて、複数回答可だとすれば、当てはまらないものはないような気もするんです。多分この問 25 の設問の意図としては、いろいろな役割があるんだけど、その中で 1 番議員に求めるものは何なんだという問の意図だろうと私は読むので、これは 1 つなのかなというふうに思います。

○西委員長 1 番大事なのを 1 つだけ選んでくださいという表現のほうがいいんじゃないかということですね。

○日置委員 どちらの表現がいいかじゃなくて、私たちが何を問いたいかということを考えるべきなので、私は 1 つ何かと問うのかなと思う。何を問いたいかによって設問を変えればいいだけだと思うんです。

○川畑委員 この全てのアイウエまで全てが大事だと思っています。ですから○をするんだったら 4 つ○をします。いくつでもいいんだったら、ということは意味がないと、調査の意味がないということから考えると、やっぱり 1 番考えの近い項目を 1 つだけというのが妥当じゃないかな。

○西委員長 どうですか。1 つだけがいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 現在のままの表現でいきたいと思います。休憩したいと思います。あとまだアンケートの数やらありますので、45 分から再開したいと思います。しばらく休憩します。

(休憩 10:38～10:45)

○西委員長 再開して、最後の6ページの間26にいきたいと思います。「市議会議員について」問26「あなたが市議会議員に求めるものは何ですか。」ということで複数に○をつけてかまいませんですが、どうですかこれについては、このままでいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 それではこのままでいきたいと思います。問27「市議会議員の活動に満足していますか。1つだけ選んで○をつけてください。」これはこれでいいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 このままいきたいと思います。問28「市議会議員に意見や要望などを伝えたことがありますか。1つだけ○をつけてください。」これはどういたしますか。これでいいですか。その他のところでアからオ以外があればということでもありますのでいいですね。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 最後の「今回は議員の成り手不足問題、定数問題、議員報酬、政務活動費を中心にアンケートにお答えいただきました。これらについて、そのほかに御意見がありましたら下記にご自由にお書きください。」この表現はこれでいいですか。政務活動費は全体的なところで額までは入れませんでしたけど、いいですか政務活動費は。いいですね。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 まだ何かありますか。

○川畑委員 今、ほぼ終わったわけですが、これは南さつま市議会のアンケートをもとにしたんですが、ほぼ同じような形になったわけですが、南さつま市議会のほうに断らなくてもいいんですか。

○川崎書記 このアンケートについては、南さつま市議会のほうにも問い合わせをしたりしてやっていますので、この形ですというのもお伝えしますし、そこは問題ありません。

○大倉野(忠)委員 すみません。ちょっと元に戻るんですが。問8の設問でウの20を18にしたんですけど、そうすると減るのが16, 14になってしまっって、増えるのは22だけにしかないんですけど、22, 24, 下のほうが18なので今20ですから、16, 18と22, 24にしないでもいいのか確認です。

○西委員長 どうですか。括弧書きがあることはあるんですが、24まで入れたほうがいいんじゃないかという今の御意見ですが、どうですか。

○日置委員 大倉野忠浩委員に賛成です。というのやっぱアンケートの項目は中立でないといけないので、現定数に対してプラスマイナス2, プラスマイナス4という選択肢を用意しておくことが大事だというのが大倉野議員の趣旨だと思うので、減るほうだけ多く選択肢をしておいて、増えるほうだけ選択肢を少なく用意しとくというのは、多分あまり項目の設定としてよくないと思ったので、16, 18, 22, 24。

○西委員長 24人を入れますか。いいですか。それではいれましょうか。24人まで入れていただいてその他までいくと6択ですね。

〔「14が要らない」という声あり〕

○西委員長 14が要らない。いいですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 それでは 14 を消すということで、16, 18, 22, 24 でその他はそのまま入れますよね。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 大体、今、終わりました。このほかに皆さん方からこういうのを入れたほうがいいのかという質問事項があれば、御意見を伺いたいと思いますがないですか。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 この設問をたたき台に今議論しましたので、そのように作っていきたいと思いますが、よろしいですね。

〔「はい」という声あり〕

○西委員長 次はアンケートの調査の数です。この間、資料を事務局のほうで調査していただいたのが、枕崎市が 1,000 人 18 歳以上ですね。南さつま市が 1,200 人。指宿市が 2,000 人、いちき串木野市は 51 団体というようなことで調査しているようですが、この調査票については事務局のほうで予算の関係もあるわけです。それで別紙で作っていただきました。調査件数 3 千件の場合、回収率 75% でいくと 2,250 件。そんなに回収率は良かったかな。

○川崎書記 例です。

○西委員長 予算を見るための例だそうです。調査件数②の 1,500 件の場合が、予算額がこういうふうになるということで、3,000 件を超えると総額 97 万 7 千円。1,500 だと 48 万円強ということですが、皆さん方はどうでしょう。御意見を。調査件数をどのように思いますか。

○菊永委員 第 4 回の特別委員会というようなことで、それぞれアンケートをとったところの回収率というものはお伺いしているかと皆さん思っていますけれども、回収率が 3,000 であっても 1,500 であってもだいたい 30% 前後というような結果が出ているというようなことであれば、3,000 件をやった場合、予算的なことでは約 100 万。それから 1,500 でやったら半分であるというようなことであります。先ほど地域をどうするかというようなことで話がありました。それぞれ 3 地域というようなことであれば、500, 500, 500 という形の中で 1,500 というようなのが 1 番ベターな調査になってくるんじゃないかなあと思っていますけれども、以上です。

○蔵元委員 参考までに抽出の方法ですね。どういうふうに考えていますか。

○川崎書記 ほかの執行部のアンケートの際も、総合計画の場合、顕娃、知覧、川辺で抽出数を市民生活課のほうにお願いして、市民生活課のほうで抽出する形になります。

○西委員長 ランダムで。

○川崎書記 ランダムです。

○蔵元委員 例えば年代がここに分けられているんですけども、それもうまくバランスよくできるようになるわけですか。

○川崎書記 年代のほうもお願いする形になります。

○川畑委員 私は 3,000 でも 1,500 でもいいと思うんですが回収率なんですけれども、3,000 出した場合に 3 地区で 1,000, 1,000, 1,000 男女で 500, 500, 500, そして年齢別の 7 段階ですので 70, 年代別の 70 のうちの半数が 35, 改修が 50% しても 35, ですから 35 集まれば年齢ごとの 35 集まれば、ある程度の確率はあると思うんですが、だからその辺のところの

回収率が 1,500 で 70%を超えれば、まだ違った段階になってくるわけですが、1,500 でした場合、アの 18 歳から各段階で 35 名の抽出ですので、35 名抽出のそのうちの 50%云々というのは 20 名以下ですので、結局そこが非常に少なくなってくると。ですからやはりある程度数をそろえるためには、上のほうがいいのかなという感じがするんですが、今言ったのは私がずっと計算をして、抽出するための計算でしたので、回収のための計算ではありません。

○蔵元委員 年代ごとでするんですけど、人口比で分けられるのかどうか。それとも 18 歳代は何人、その人口の割合でできるのか。それとも均一でいくのかどうか。

○川崎書記 そこまで詳しくはこちらのほうも確認はしてないところなんですけど、アンケートを行うところが、市民生活課へ何歳から何歳で地域別でというような形でお願いしたら、誰、誰という形で返ってくるというふうに聞いておりましたので、確認しないと今はわからないところです。

○竹迫委員 予算も、それと事務局に対する負荷ですね。これは考えないといけないのかと私は思うんですけど。件数ですね。そういうことを考えると確かなというかそれをする場合はもう全部やったほうがいいわけなんですけど、どういう意見があるかとか、どう考えられるかとかいうようなそういうことを聞いて最終的に我々が判断しないといけないわけですから、私はこの 1,500 でもいいのではないかなあと私は思います。

○西委員長 今、出ましたアンケートの数、それと市民生活課のほうにお願いするということですが、今の時代ですので年代別、地域別というので抽出すればできるのかなと、市民生活課にお願いする分は 80 代まででしたので、できるのかなというふうな思いもあります。それと今竹迫委員が言われたように、他市の調査を見ると私も個人的には 1,500 ぐらいでいかがでしょうか。あとはもう市民の皆さんがいくら回答していただけるかにかかっていますので、丁寧なこの附属資料で現在の議会の状況を報告すれば、ある程度回収もしていただけるんじゃないかと、回答もしていただけるんじゃないかと個人的にはと思いますが、いかがでしょうか。

○菊永委員 もう 1 回執行部のほうにお伺いするんですけれども、それぞれ近隣市の議会のほうでアンケート調査を行ったということでもあります。アンケートの結果、回答率というのについて回答をお願いします。

○川崎書記 前回お配りした資料に記載されているんですけど、枕崎のほうで 1,000 に行っております。そして回収率が 30.6%になっております。

○西委員長 指宿市が 28.3%。

○川崎書記 南さつま市についてまた確認したいと思います。

○日置委員 結論から言うと 3,000 件がいいと思っています。というのは前回の委員会で川畑委員が御指摘されたことがすごく大事だと思っていて、統計上、有意な数をとらないといけないというときに、結論だけ言うと大体 400 だと思っているんです。というのは大体 100 回中 95 回とったら、5%以内に集まるよというのが統計上有意と言われるような考え方で、メジャーなところでは、100 回アンケートだったら 95 回は似たような回答が来るよという考え方があって、統計上有意というか、それが大体母数として 400 取らないといけないんです。私は回収率は 30%から 40%と想定したときに、3,000 かける 30%で 900、40%で 1,200 なんです。だから市全体のことを考えるだけでいいんだったら 1,500 で十分足りるんです。多

分。ただ顚娃とか知覧とか川辺とかそれぞれの地域の考え方みたいなことまで統計上有意を求めるのであれば、顚娃、知覧、川辺から大体 400 ぐらいは持ってこないといけないという話になっちゃうんですね。私たちが何を知りたいのかで違うと思うんです。あくまで各地域の状況というのを参考程度の資料としてとるよというんだったら、十分 1,500 でいいんでしょうけど、各地域の動向まで取りたいというのであればやっぱり 3,000 だろうとは思いますが。そこをどう考えるのかということで、恐らく 1,500 なのか 3,000 なのか、予算的なことを抜きにすれば変わってくるのかなというふうに思っていて、やっぱり各議員のコンセンサスとしては、旧町ごとのもっと言えば校区ごとの状況を知りたいって話になるんだったら多めにしておいたほうが、統計上有意な結果が得られるのかなとは思いますが。以上です。

○西委員長 予算を抜きにしたら 3,000 のほうがいいのではないかというご意見です。

○竹迫委員 私はその統計学そういうものは全く知りませんが、私はどのようなことを考えているのか、御意見があるのか。そういうあくまでも参考ということでしたよね。それに縛られないという前提が私はあったと思うんですが、ここは確認しますがそうでしたよね。

○西委員長 はい。

○竹迫委員 それでそういうことからしますと、もう学問的に言ったら私は全くわかりません。しかし、我々が参考にというのであったら 1,500 でも十分じゃないかと私は思います。やはり先ほども言いましたが、予算もですが事務局の負荷、そういうこともやっぱり考えるべきだと思います。それでその抽出については市民生活課ですか、そういうところにこういうことでとしたら、そのようなことはノウハウを持っていると思いますので、やってくれるのではないかと私は思っております。以上です。

○川畑委員 このアンケートの結果を重視するということではなくて参考ということでしたので、一番最初が。ということは数がいくら集まるも、その意見が 500 集まれば 3 分の 1 で 500 集まれば参考意見としてできるんじゃないかなと。だから約 3 割やってもらえばということ 1500 で、少ないほうでいいんじゃないかなと私は思います。

○日置委員 参考という言葉のあやがあると思っていて、出てきた資料に対して私たちは参考にしないといけないんですけど、とった資料の数字が参考に値しないものであれば、それはそもそも参考にもできないと思うんです。だとすれば私たちがそのデータをどう扱うかはともかく、扱うデータが引用するに値する状況を作っておかないといけないと考えたときには、400 取るんだとすれば、あくまで全体ぐらいのことと考えていくのか、旧町ごとの統計も考えていくのかとか、そういう考え方になってきているんだろうと思います。1,500 でとるんだったら旧町ごとの状況というのはデータとしてはあんまり信頼が置けないデータになっちゃうということも可能性も、信頼が置けないというよりは信頼性が低くなると言えいいのかな。集計の方法についてはいろいろあると思うんですけど、何をもって私たちがちゃんとしたデータを知りたいのかというところからスタートすればいいのか。

○川崎書記 統計のほうでいきますと統計学いろいろあるわけなんですけど、1つの統計といたしまして、今回のものは義務的でなく、それぞれの方にこちらからお願いするので回収率がわからないというところが難しいところでありまして。ただこの統計でいきますと必要なサンプルが 1 万人の場合に 370 人、10 万人で 383 人と基の母集団、分母が大きくなっても、比例してそれぞれサンプル数が同じように比例して増えるのではなく、ある程度、母集団が

大きくなっても必要なサンプル数の上がり幅は低くなるというのが、この統計学のほうには出ております。

○西委員長 どうですか皆さん2択ですが、賛否をとりたいと思いますが、1,500 で良いという方は挙手を。

〔賛成者挙手〕

○西委員長 挙手多数ですね。1,500 でいきたいと思います。予算も上げないといけないということですので、1,500 で決めていきたいと思いますが、よろしいですね。

〔「はい」という声あり〕

○川崎書記 先ほどの南さつま市のアンケート結果ですけど、回答率の33.4%でした。

○西委員長 調査票1,500ということで、アンケート調査票も決定を見ました。ほかに何かございますか。

○日置委員 集計の方法についてなんですが2つあって、1つ目はこれを事務局で全部やるんでしょうか集計は。

○川崎書記 今の事務局としての考えは、今、県のほうでアンケートをスマホ等で取る方法もありますので、そのフォームを作って、年配の方は紙での回答となりますので紙の回答なんですけど、若い方は紙でもいいんですけど、そういう形でスマートフォンでも回答できるようにしていった集計も少しでも早くできるような形をとりたいと考えてるところです。以上です。

○日置委員 私の間は集まった紙とかを集計してデータにするのは事務局でやられるのかと。

○川崎書記 事務局のほうで行います。委託はしません。

○日置委員 これ相当な作業だと思うので、例えば任意の方でも構わないのでみんなで出てきて、ざっとやったらすごく早いんじゃないのですか。これ3人でやるのと23人でやるのでは全然スピードが。もちろん都合等あると思うんですけど。

○川崎書記 初めてのことなのでやっていきながらどのくらいの事務量になるのかわからないので、今の日置委員の発言はすごくありがたくて、多くの方でやればそれは早く済みますけど、どのくらいの事務量か事務局としてもわかってないので、そこもまた今後委員長とも語って進めていけたらと事務局は思います。

○日置委員 あと2点目が企画課の広報統計に協力を仰ぐのはどうかなというのがあって、例えば紙でやるんじゃなくてデータでやると、議会をよく見ている人は議員定数を維持する傾向があるよねとか、こう答えた人はこうだよねといういわゆるコーホート分析というのができて、例えば川辺の人は、例ですよ。議員は多めがいいけど、頼娃の人は低めだというのをエクセルのマクロで組めば抽出できるデータがつくれるはずなんです。それ多分集計としてもそうやったほうがすごい楽な気もしていて、ネット調査もするんであれば、できればなんですけど、そういった広報統計と情報政策がそれぞれプロがいらっしゃるはずなので、得たデータの最大化と集計を楽にするためにも何かアイデアをいただけたほうがいいのかという提案です。以上です。

○川崎書記 アンケートの進め方についてはこの協議をする前にも企画のほうにも聞いておりますし、そういう関係部署に意見を聞きながら進めていきたいと思います。

○蔵元委員 アンケートとはずれるかもしれないですけど、ここに附属資料というふうを示

されているんですけど、これは今度はこれを目にする知る人っていうのは、この発送された人たちなんだけど、こういった資料について全部じゃないですよ。主なところを今度の議会だよりこういったアンケートをしましたということで、附属資料として載せていただければ、皆さんに少しでも議会の活動状況とかが分かるのかなと、そこは検討していただきたいと思います。

○西委員長 それはいいんじゃないですかね。議会だよりの編集委員会の方をお願いしたいと思います。

○竹迫委員 今後、議論されると思いますが、アンケートの結果等が出てからになると思いますが、定数それから報酬まで含んでいるわけですよ。ですから1つの参考として、本市の職員の30歳とか40歳とか市役所に入った年数とか、学歴等でも違うのかなと思いますが、私もよくわかりませんが、参考になるような給料ですね。それを委員会として調べてもらいたいです。今後、参考になると思いますので。

○蔵元委員 毎年広報紙にその統計を出しているような気がするんですけど。

○西委員長 出ていますね。市報に。職員の給料が載っている。ということですが、その件についてはそれでいいですか。その他ございませんか。

【「なし」という声あり】

○西委員長 ないようですので、1点だけこのアンケートの調査票をお願いするに当たっては、こないだから出ていますようにアンケートをお願いする中にこれはあくまでも皆さんの御意見を参考にさせていただくということの文言だけ言っていきたいと思いますがそれでいいですか。

【「はい」という声あり】

○西委員長 ほかにないようですので、第4回の市議会定数等調査特別委員会を終了したいと思います。御苦労さんでした。

(閉会 11:14)